

原稿校了後の前兆変化について

ハヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続特殊前兆 現況報告 第18ステージ前兆と火山帯近傍地殻地震前兆 再検討

【9/4.5 極大認識で計算】

下終息の場合→推定発生日

- 9月17.1日± 9月21.4日
- 9月17.8日± 9月22.4日
- 9月18.5日± 9月23.3日
- 9月19.3日± 9月24.4日
- 9月20.0日± 9月25.3日
- 9月20.8日± 9月26.4日
- 9月21.5日± 9月27.4日
- 9月22.3日± 9月28.4日
- 9月23.0日± 9月29.4日
- 9月23.7日± 9月30.3日
- 9月24.5日± 10月01.4日

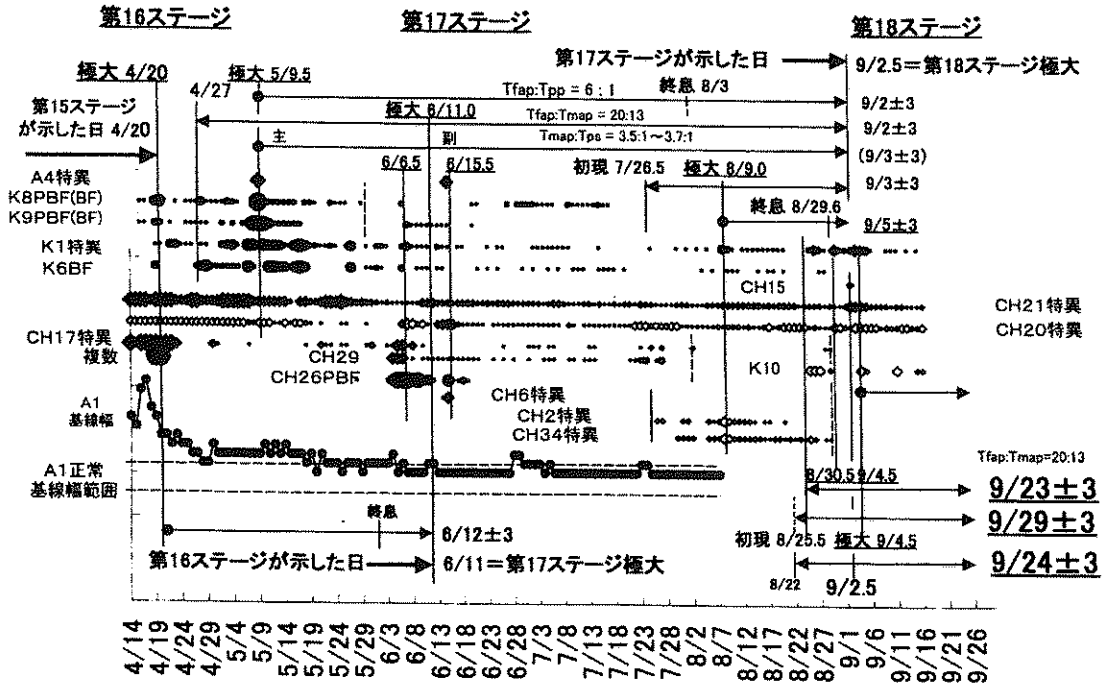
【9/2.5 極大認識で計算】

下終息の場合→推定発生日

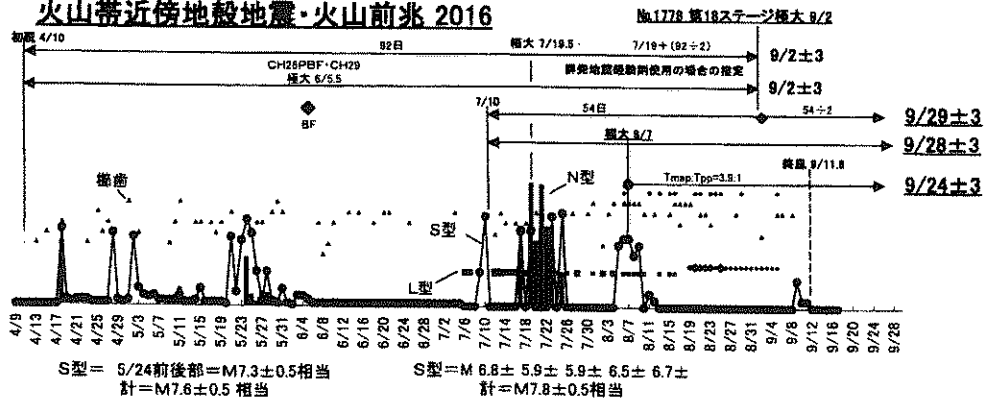
- 9月17.3日± 9月22.4日
- 9月18.0日± 9月23.3日
- 9月18.8日± 9月24.4日
- 9月19.5日± 9月25.4日
- 9月20.3日± 9月26.4日
- 9月21.0日± 9月27.4日
- 9月21.7日± 9月28.3日
- 9月22.5日± 9月29.4日
- 9月23.2日± 9月30.3日
- 9月24.0日± 10月01.3日

前号報告(9/15)で、前兆が終息していないことから9/19以前発生の可能性は否定できること、9/4.5極大と8/25.5初現とした認識での推定時期として、9/23±の可能性等を報告致しました。高知観測点不具合で、8/22~24に9が欠測していることから、8/22から第18ステージの前兆が出現していた可能性について、9/2極大の場合と9/4極大の場合での推定が足りませんでしたので、改めて報告させて戴きます。また同時期に出現した火山帯近傍地殻地震前兆についても検討致しましたので、合わせて上に掲載させて戴きました。どちらからも、9/24±と9/30±の二種の可能性が計算できますので、9/23±だけではなく、両方の可能性を報告致します。

上には、9/4.5極大の場合と9/2.5極大の場合での各前兆終息時期から計算される推定発生日を列記しました。実際の前兆終息が観測されれば発生日を確定できますので、観測された場合はご報告させて戴きます。



火山帯近傍地殻地震・火山前兆 2016



- ◆推定領域：右図A領域太線領域内付近
※やや火山帯に近い領域の可能性有
(可能性低い影響局誤認の場合=B領域)
(参考)
- ◆推定規模：M7.8±0.5
※群発的地震活動の可能性も有
- ◆推定時期：前兆終息を確認して推定報告
現状認識での考え易い可能性①=9/24±
現状認識での考え易い可能性②=9/29±
(9/26以降前兆継続の場合等は再考します)

- ◇推定地震種：震源浅い陸域地殻
- ◇推定発生日：AM9:00±1 (or PM6:00±3)
(※前震があった場合には推定時刻は無効)

